時事新報

明治十八年七月十八日（土曜日）
舊乙酉六月七日　きのえ、いぬ
日出午前四時五十八分　日入午後七時十三分
月出午前十一時二十五分　月入午後十一時十四分
滿潮午前九時五十九分　午後十時二十三分
（西暦一千八百八十五年）

時事新報定價（日曜日バカリ休刊）

一枚金三錢○一箇月前金六十五錢○三箇月前金一圓八十錢○六箇月前金三圓四十錢○一箇年前金六圓五十錢○郵便税一箇月金廿六錢一箇年金三圓十二錢○左ニ掲クル各地ニ於テハ郵送無料ニテ配達致候

東京　横濱　横須賀　從神奈川至小田原驛　八王子
大坂　京都　大津　神戸　岡山　廣島　和歌山　下ノ關
名古屋　岐阜　岡崎　四日市　津　松坂　山田
仙臺　石ノ卷　函館　宇都宮　高崎
其他同地近傍配達便宜ノ個所ハ同シク郵送料不申受候

時事新報廣告料（前金）

一行廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上十五日迄	十六日以上卅日迄	卅一日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘	六錢四厘
自十一行至三十行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘	五錢六厘
自卅一行至五十行	八錢	六錢五厘	五錢八厘	五錢五厘	五錢二厘
五十一行以上	七錢	六錢	五錢四厘	五錢一厘	四錢八厘

公報

○太政官布告第十七號
明治十七年四月佛蘭西國巴里府ニ於テ調印ノ海底電信線保護萬國聯合條約ニ加入ス
右奉　勅旨布告候事（別冊略ス）
明治十八年七月十七日
太政大臣公爵三條實美
外務卿伯爵井上馨
工部卿伯爵佐々木高行

○太政官布告第十八號
海底電信線保護萬國聯合條約罰則別冊ノ通制定ス
但施行ノ日ハ追テ布告スヘシ
右奉　勅旨布告候事（別冊略ス）
明治十八年七月十七日
太政大臣公爵三條實美
工部卿伯爵佐々木高行

○大藏省達第四十二號　府縣　沖繩札幌根室ノ三縣ヲ除ク
明治十五年三月陸軍省達甲第十六號徴兵入費定則十八年度限リ相廢シ徴兵旅費定則左ノ通相定メ來十九年度ヨリ施行ス
右相達候事
明治十八年七月十七日　大藏卿伯爵山縣有朋

徴兵旅費定則

第一條　檢丁及呼出ニ係ル檢丁ノ父兄並ニ抽籤總代人檢査所又ハ抽籤場ヘノ旅費ハ往復六里旅行ヨリ一里ニ付金二錢五厘ノ割合ヲ以テ之ヲ給ス其支給方法ハ一檢査所又ハ一抽籤場毎ニ打切リ一里未滿ノ端數ハ切棄トス若シ同所ニ滯在セシムルトキハ滯在日當金二十二錢ヲ給ス○第二條　檢丁若クハ呼出ニ係ル父兄癈疾不具等ニシテ保護人ヲ要セサレハ檢査所ニ出頭シ難キ場合ニ於テハ保護人ニ給スル旅費並滯在日當額ハ前條ニ據ル○第三條　檢丁若クハ呼出ニ係ル父兄癈疾不具等ニシテ歩行シ難キモノハ第一條旅費日當ノ外一里ニ付金七錢ノ割ヲ以テ車馬賃ヲ給ス○第四條　新兵入營ノ旅費ハ三里以上ヨリ一里ニ付金四錢ノ割ヲ以テ給シ若シ滯在セシムルトキハ滯在日當金二十八錢ヲ給シ其附添人ハ一般旅費定則ニ據リ支給ス○第五條　新兵入營途中川留船待若クハ病氣等ニテ延滯ノトキハ其地郡區長又ハ戸長ノ證明書及醫師ノ診斷書アル者ハ滯在日當ヲ給ス又疾病足痛等ニシテ歩行シ難ク車馬ヲ雇ヒタルトキハ醫師ノ診斷書及ヒ通運會社等ノ受取證書アル者ニ限リ其車馬賃ヲ給ス　但車馬賃ノ申請ニハ入營附添人ノ證明書其附添人ナキ場合ハ沿道戸長ノ證明書ヲ付スベシ○第六條　各廳ノ便宜ニヨリ此定則中ノ給額ヲ減少スルハ適宜タルヘシ

時事新報

日本商工業者ノ商標

去月上旬農商務省ニ於テ貨物商標ノ登錄ヲ始メシヨリ以來擧テ登錄ヲ願出タルモノ既ニ幾百件ニ上リテハ日本商工業者ガ登錄ノ上ニテ商標ヲ使用スルモノ千ニ及ビ萬ニ達シ百貨物ノ取引實物ヲ取引スルニ皆ク商標ヲ用ユルノ時節到來モ亦遠カラザルベシ斯ノ如ク我國商工業ノ人々ガ貨物商賣ノ信用ヲ重ンズルノ風盛ナルハ甚ダ嘉スベキナリ

貨物ノ供給者ハソノ貨物ニ對シテ充分ノ名譽ヲ求メ信用ヲ買フノ外、他ノ濫製粗造品ニ妨ゲラル、ヲ防ク爲メニ商標ノ必要ヲ見出シ需用者モ亦タ精良ナル貨物ヲ得ンガタメニ同ジクコレヲ目當テトシ賣ル者買フ者ノ間ニ在テ共ニ便利ヲ與フルハ唯コノ商標ノ力ニ在ル了素ヨリ論ヲ俟タズト雖ドモ然レドモ商賣取引ノ繁簡トソノ區域ノ廣狹トニ因テ商標ノ用モ亦自カラ大小ノ差異アリ例ヘハ一村一邑内ノ取引ニ於テハソノ貨物ノ異價精否モ直接授受ノ際ニ一目之ヲ知ル了容易ナルガ故ニ別段ニ商標ヲ用ヒズシテ事濟ムベク又ソノ品物ノ種類他ニ類似ノモノナシトスレバコレモ其儘ニシテ必ズシモ商標ノ沙汰ニ及バザルベシ然レドモソノ商賣ノ區域一町村内ニ限ラズシテ一郡一縣ニ及ビ夫レヨリ又進テ全國内ニ往渡リ特ニハ文明事物ノ繁榮ニ連レテ同種類似ノ品物千萬相混同スルニ至ルトキハ商標ニ頼テ賣買双方ノ信用ヲ堅クスルノ必要ヲ現ハシ出ツベシ昨年我政府制定ノ同條例モソノ精神ハ日本ノ商工業者ニコノ便利ヲ與ヘンガ爲メナリトス故ニ我輩ニ於テモ今後日本ノ商業社會ニハ一般ニコノ商標ノ流布シテ購求者モ精良品ヲ求ムルノ目表ヲ得ル了ヲ希望スル者ナレドモ獨リ更ニ商標本來ノ精神ヲ擴張シテコレヲ海外貿易ノ市場ニモ應用セシメンコトヲ欲スルナリ何トナレバ一町村内若シハ一郡縣内ノ商賣ヨリモ日本全國内ノ商賣ニ於テ多ク商標ノ使用ヲ要ストモ云ヘバ同ジク其道理ニテ日本一國限リノ商賣ヨリモ諸外國トノ取引ニ於テハ特ニ大ニ商標ノ必要ヲ見ルベケレバナリ

今我日本ノ商工業者ガ其在來ノ私用商標ヲ改良シ若クハ新ニコレヲ作ルニ當リソノ規模体裁ヲ西洋風ニ取ルモ又日本舊來ノ符牒類ヲ用ユルモ當人ノ隨意ニテ如何樣トモナルベケレドモ同ジク商標ヲ使用セントスルカラニハソノ採擇ヲ愼ミ人ノ目ニ附キ易キモノヲ取テ附キ易カラザルモノヲ捨テ成ル丈面白キ趣向ヲ設ケ成ル丈衆人ニ分リ易キ工夫ヲ凝ラシ又内國限リ通用スルモノヨリモ成ルナラバ内外併セ用ヒテ行ハル、了ヲ專一ト爲サヾル可ラズ抑モ日本國内限リノ商賣ニ於テハ從來唯劍菱ノ酒トカ龜甲萬ノ醬油トカ甚ダ粗末ナル符號印ナ商標ノ一種ヲ用ヒタル例シアリタルノミニテ他ニ其先例モ少ナク昨年該條例ノ制定發布アリタルモノ、日本人ガ一般此商標ヲ認識シテ普クコレヲ取引ニ利用スマデニハ尚ホ多少ノ年月ヲ要スベク日本國内ニハ商標ノ働キ尚ホ甚ダ充分ナラズト云フベシコレニ反シ西洋諸國ニ於テハ多年來ノ實驗ニテ最モ商標ヲ重ンズルノ氣風一般ニ往渡リ居ルガ故ニ日本ヨリ諸外國ニ輸出スル物品ニハ商標ノ功用實ニ洪大無邊ナリト云ハザルヲ得ズ試ミニ登錄商品ノ種類第一種ヨリ第六十五種ニ至ル貨物ヲ通覽スルニ一物トシテ外國ニ賣捌ケ得ザル品ハ無ク隨テコレ等ノ商標ハミナ西洋風ヲ參酌シテ外國人ノ記臆ニ存シ又ソノ目表ニ爲ルベキヤウ工夫スル了ノ大切ナルハ論ヲ俟タズ然ルニ我輩ソノ既ニ登錄濟ミトナリタル商標ノ模樣形状等ヲ一見スルニ圓圈ノ中ニソノ區別ノ一二等ヲ指スルトカ山形ノ土、又ハ下ニ一寸シテアル紋ヲ加フルトカ或ハ龜甲形、富士形、曲尺形、菱形、分銅形、巴形或ハ鶴龜松竹梅或ハ字性ノ分カリ兼ル古代ノ文字ナド甚ダ多ク中ニハコレニ羅馬字ノ一二個ヲ附加ヘタルモアレド夫レ迚モ百中ノ二三ニ止マリテ要スル所ハ通常、店先キ暖簾ノ符牒若クハ土藏ノ壁ニアル記號類ヲソノ儘ニ持出シタルカ但シハコレニ僅少ノ修飾ヲ加ヘタルマデニ止マリコレヲ海外ノ市場ニ出シテ日本品ノ商標ハ乃チ是ナリトテ示スサヘ尚ホ氣ノ毒ナルモノアルガ如シ我々日本人ガコレヲ見テサヘ何々ノ商標ナリト分明ニ記臆スル了ノ六ケ敷程ナレバ況テ西洋人ノコレヲ見ルニ於テハ類ト感ジヲ起サズシテ記臆ニモ存スル了能ハザルナラン斯クテハ折角ノ商標モ其功能甚ダ少ナシト云フベシ是レ我輩ノ遺憾トスル所ナリ

附テ我輩ガ追々商標ノ登錄ヲ出願セントスル日本ノ商工業者ニ勸告致シ度キハ日本ニテ商標ノ制定ハ纔カ一周年前ノ了ニシテソノ使用モマダ着手ニ至ラザル次第ニユエ必ズシモソノ家傳來ノ屋號符牒ニ類スル者ノミヲ採用スルニ及バザルノミナラズ自今以後大ニ其商標ヲ利セントスレバ西洋人ノ目ニ視テモ都合ヨキモノヲ撰ミ以テ海外ノ市場ニ日本品ノ信用ヲ博スル方便ニ充ツベシ夫等ノ事ニ關シテハ自身ニモ樣々ノ工夫ヲ運ラシ西洋ノ文字ヲ挾入シ西洋ノ書圖ヲ採取シ成ル丈西洋流ノ商標ヲ手本ト爲スベキ中ニモ外國ノ事情ニ通ジタル人々ニ問尋テ又其鑑定考案ヲモ煩ラハシテ專ラ世界ニ持出シ耻ツル無キノ良商標ヲ作ルノ工風ナカル可ラズ既ニ政府ニ於テハ紙幣ヲ發行シ郵便切手電信切手等ヲ作ルニモ日本文字ト西洋文字ト交ヘ記シテ内外人ノ兩樣ニ通用セシムルノ工風ヲ爲セリ其見ル所廣クシテ今日ノ事情ヲ解シ得タルモノト許セザルヲ得ズ世間ノ商工業モ其私ノ商標ヲ案スルニハ政府ノ此精神ニ倣ハンコ希望ニ堪ヘザルナリ適々我政府商標登錄ノ廣告アリタル今日ソノ商標ノ模樣等ヲ見テ一言商工業者ノ注意ヲ促カス了此ノ如シ

雜報

○渡邊府知事の演説　一昨十六日東京臨時府會の開會に際し渡邊府知事が臨場して演述しゐる主旨ハ左の如し

諸君本日諸君ヲ勞シテ臨時府會ヲ開クノ不幸ニ遭遇スルモノハ去月以來ノ霖雨ニ加ヘテ本月一日以後ノ强雨アリ府下諸川俄ニ漲溢シ堤防ヲ破壞シ橋梁ヲ流失セシニ由レリ實ニ本年ノ水害タル希有ノ事ニシテ天和年間開築ノ千住大橋初テ落チ其餘勢ノ助クルアリテ明治八年ニ新築セル吾妻橋ヲ流シタリ幸ニシテ其斷片ヲ中流ニ挽止メタルニ依リ厩橋ハ氣息ヲ將ニ斷セントスルニ止メタリト雖ドモ中央ハ正ニ弓形ヲ爲シ其損傷ヲ免レズ兩國以下幸ニ流失ヲ免レシト雖ドモ當時之ヲ實驗シタルニ其甚ダ危殆ナルニ驚ケリ他ノ三橋累々流失シナバ其災害底止スル所ヲ知ラザラン本月二日ノ曉天ヲ顧ミレバ今尚戰慄スルヲ覺ユルナリ其他各地堤防田宅ノ破損當時人民ノ死力ヲ盡シテ防禦シタルモ遂ニ不幸ノ結果ヲ免ル、能ハサリシモノ數多アリ今其補理ニ係ル工事ヲ案ズルニ千住大橋ハ奥州街道ニ架スルモノナリト雖ドモ既ニ近ク鐵道線路ノ布設アルニ由リ幾分カ其往來ヲ減シタルノミナラズ之ニ架セル堅牢ナル鐵橋アリテ流勢ヲ殺グ了多クノ故ニ從來ノ橋梁ヲ補綴シテ通常ノ木橋ヲ架設スルニ止メ其建築ノ間ハ渡船ヲ以テ交通ヲ辨シ吾妻橋ハ府下四大橋ノ一ニシテ車馬絡繹ノ地ニ架セルノミナラズ荒川綾瀬ノ兩流ヲ受ケ水勢最モ激ク尋常ノ橋梁ヲ以テ之ヲ支ユベカラズ況ヤ其下流兩國以下ノ三大橋ヲ防クノ關鎖ニ屬ス故ニ堅牢ヲ主トシテ之ニ鐵橋ヲ架設シ建築ノ間ハ假橋ヲ以テ人ノ往來ヲ通ズ廐橋ノ損害ハ他ニ比スベキノ實アリテ其修繕ヲ圖ルベシ堤防川岸ニ至テハ破損ノ箇所枚擧ニ遑アラズト雖ドモ

羽田村石枠ノ如キハ昨
ヲ破壞セルヲ以テ更ニ
トセリ
以上ノ經費極メテ費用
ザルヲ期スル而シテ今新
シ故ニ千萬考慮ヲ加ヘ
此般ノ落橋木材ノ流失
此事ニ至テハ其事實ヲ
ヲ講定スベシ過般區部
再ビ此會ヲ開ク實ニ已
實況ヲ察シ且ツ將來ヲ
歸セヨ本官ノ此案ヲ發
ルナリ聊本案ノ主旨ヲ

○屬員委員　戸山學校教
課長岡村會計二等副監督
務課長吉田會計二等副監
次長矢吹工兵小佐は陸軍
仰付らる

○區郡長增給　東京府四
芝區長梅田義信の二氏は
浦郡長磯部爲吉氏は自今
昨十六日仰渡されたり

○非職茨城縣令　人見寧
同縣令たりし時大書記官
が撿事に轉任するゟ際し
ると前後八年ゟ及びたれ
の交際自から深く此程同
戸を發して上京するゟ就
の郡長戸長は水戸にて盛
々は當日石岡（水戸を距
りと云ふ

○遠州森町通信　七月十
先便ゟも御通報申候通り
茶の不作に引續き時候不
らんゝと掛念の折柄季候
らは格別の減じにも至ら
工合も宜敷坪方稍や力と
り打捨置きたる二番芽を
や芽摘の時季に至り日々
内ゟ追々季候後れと相成
の製茶は大ゟ減じ下等品
上下品殆と七分三の割合
りの由なれども前の次第
强氣と唱へ居り申候本日
り二圓五十錢迄、稀頭物
五十錢より七十錢迄、中等
六十錢より九十錢迄の取

○金澤通信　七月十三日
第七旅團長國司陸軍少將
赴く由石川縣一等屬石川
て同所ゟ出張する筈ある
會せる聯合兵事會議に出
養蚕れ形況は初めは頗る
般來氣候の不順なりしと
害を被りたり○當金澤區
廳の所轄に歸ㄑ盛んに製
も縣下の繭のみゟては何
方より買入れるとゟなり
金澤區内より布哇國出稼
千八百五十三名ありしよ
て六月十八日を期し當地
ありて七月五日と定りた
ひ夫々の用意をなし其